

2015 年 10 月 24 日 (土) 高尾山～陣馬山縦走 (約 17km)

～Report by 吉松～

秋晴れの下、高尾山から陣馬山に向けて尾根歩き縦走をした。

高尾山はさすがに人気の山だ。ゆっくりと薬王院の寺域散策をしている人、健康や体力づくりを目的に汗を流している人、トレイルランニングスタイルで走り去っていく若者など、実に様々だ。陣馬山までの縦走を楽しんでいる登山者も結構いるようだ。

今回の参加者は熊本さん、能勢さん、石井さん、根岸さん、そして吉松の5人であった。



集合場所は高尾山口駅 (7時30分)

少々風邪気味の熊本さん、腰を痛めての参加の能勢さん、来年計画している熊野古道の長距離歩き (約 20km) を体験しておこうという石井さんなど、それぞれの思いと事情を抱えての参加者5人だった。



駅の近くには、寺域全山の大きな地図が掲示されている。

我々はケーブルカーを利用して、表参道コースをとることにしている。



高尾登山電鉄ケーブルカーの清滝駅までは、歩いて5分もかからない。



ケーブルカーの始発は8時であったが、既に多くの人々が改札前に並んでいて、我々も列に入ることにした。

幸い高尾登山電鉄職員の粋な計らいで、「試運転が終わり次第運転を開始します。」とのアナウンスがあった。



試運転も終わり、7時45分の臨時始発便に乗り込んだ。

高低差271m、最急勾配は31度18分だ。高尾山駅まで力強く登っていった。



高尾山駅から山頂までは表参道コース(1号路)を歩いた。標高差230m位なのだが、結構歩き応えがあった。

高尾山駅から「さる園・野草園」を過ぎると、「たこ杉」の表示があった。根が蛸の足のように伸びているから付けられた大杉の名前だ。



由来は良く分からなかったが、「たこ杉」の傍には大きな「蛸供養碑」が建っていた。またそのすぐ傍には、「開運ひっぱり蛸」まで有って、参道を歩く人を飽きさせない。

腰を痛めた能勢さんは、早速「ひっぱり蛸」の円球に触れては腰のあたりを撫でていたが、果たして効能があったかどうか？



これは、表参道コース途中の「苦抜け門」



表参道コースは、寺域を通過しながら山頂に至る。

8時10分、「四天王門」をくぐった。



「開運厄除」の仁王門



「高尾山薬王院」

東京都指定の有形文化財になっている。朱塗りの堂々とした寺だ。

8時35分

高尾山山頂（599m）に到着

山頂広場は、晴れわたった日には東京の超高層ビルや遠くは富士山まで望むことができる絶好の場所だが、生憎靄が邪魔して今回は遠望を楽しむことはできなかった。



暫し山頂でゆっくりしてから、陣馬山までの尾根歩きをスタートした。

最初の通過ポイントは「一丁平」だ。

ぽかぽか陽気の土曜日とあって、山歩きのグループは多い。



9時7分

「一丁平」に到着



「一丁平」で小休止

比較的平たんな道を20分ほど歩いただけだが、汗ばんできた。



人気の高い「関東ふれあいの道」だけあって、登山道はかなり良く整備されている。



9時30分

「城山」に着いた。

休憩小屋(茶屋)がしっかり整備されていて、ちょっとした食べ物、飲み物は何でもそろっている。

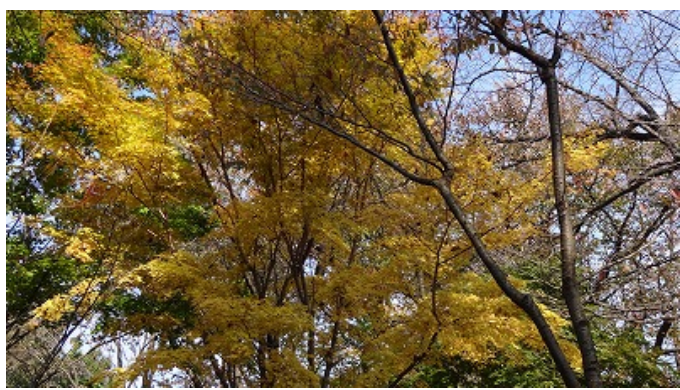
「なめこ汁」が名物だ。



木陰で休憩

「城山茶屋」の周りは広々としている。テーブルも野趣にあふれていて、風が吹き抜けると汗が引いて気持ちが良い。

この時期はまだ全山紅葉とは言い難かったが、木々によっては赤や黄色に色づいている見事なものもあった。



8時40分、小仏峠を經由して景信山に向かう尾根道を歩き出した。



小仏峠には、明治天皇が明治13年御巡幸の折に立ち寄りご休憩された記念の碑が建っていた。

我々も全員で記念写真をパチリ。



「明治天皇小仏峠御小休所跡」



道の両側には立派な楠が空に向かって伸びている。

楠の良い香りが漂ってきた。



10時25分

景信山（727m）到着

未だ昼には大分早かったが、皆朝食が早く済ませていたせいで、この時刻にはもう腹ペコだ。

ここで昼食をとることにした。



ここにも立派な茶屋（景信茶屋）がある。随分登山者が茶屋を覗いていて、結構人気のようだ。

石井さん、根岸さんは、昼食に「山菜天ぷら」と「なめこソバ」を頼んだ。



2人が注文した、「景信茶屋」の山菜天ぷらとそば

山菜は、茶屋の周りから採取してきたような木の葉や野草だが、結構いける。蕎麦もおつなものだったようだ。



能勢さん持参のワイン「G7カベルネソーヴィニオン（通称セコマワイン）」でまずは乾杯。

風は微風、空気はおいしくて、熊本さん持参の「日本酒」でこのまま酒席をつづけたいくらいだ。



11時過ぎ、景信山を後にした。

陣馬山まで縦走する人は、さすがにまばらになってきた。前後に人影が見えない。



太陽が高くなってきて、気温が上がってきた。30分ほど歩いて給水タイム。

(xxさんは、放水タイム?!)



景信山から堂所山（731m）までの尾根道には、「巻き道」がしっかり作られている。ピークを避けて縦走することも可能だ。堂所山では、熊本・根岸組は巻き道を選び、能勢・石井・吉松組は山頂経由で歩くことにした。



能勢さんは、登り始めてから急に腰が痛かったことを思い出した。

山頂経由組に入ってしまったことをしきりに悔やんではいたが、今更引き返すわけにもいかず、頑張った。

堂所山山頂近くの標識前で写真1枚。



巻き道を歩いた熊本・根岸組は、我々が山頂から下ってくるのを、写真を構えて待っていてくれた。



底沢峠を経て、次は明王峠へ向かった。

明王峠（739m）で縦走最後の一服。



縦走路の足元に、所々設置されていた石の表示板

高尾山～陣馬山間を歩く「関東ふれあいの道」19kmの、現在位置が大よそ分かるようになっている。

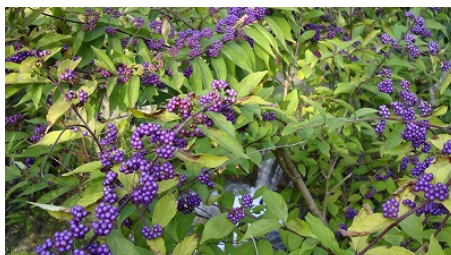
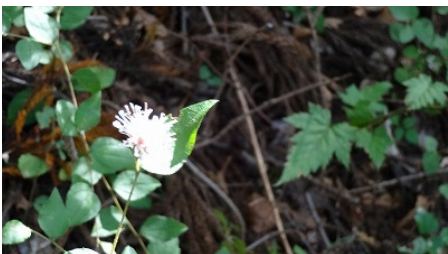
13時

陣馬山（855m）山頂に到着

靄のため遠望出来なかったのが残念だったが、山頂広場にはポカポカ陽気を楽しんでいる登山者が多かった。



高尾山、陣馬山は低山ながら四季の花々の宝庫だ。路傍には色々な花が咲いていた。





山頂で休憩後、和田登山口に向けて下山開始

下山道ではすれ違う登山者もほとんど無く、スタコラ、スタコラと、一気に下ってこれた。足元の石や木の根に煩わされることも少なく、実に快適だった。



14時、和田の登山口に到着した。

和田バス停までは舗装道路をゆっくり歩いて15分だ。



和田のバス停

幸運にも14時32分発の中央本線藤野駅行き定期バスがあった。

ザックを整理したり、靴底を洗ったりしていると、程なくバスが到着。



藤野駅でタクシーを拾い、熊本さん推薦の「ふじの温泉 東尾垂(ひがしおたる)の湯」に行き、温泉に浸かった。

源泉100%かけ流し、美容と健康をコンセプトとしているそうだ。



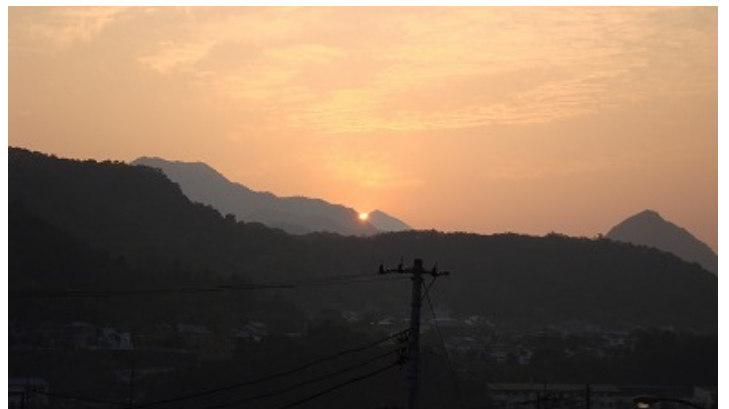
クマさん会定番の、ビールで乾杯



16時15分発の温泉送迎バスで、藤野駅に向かった。

時間を無駄にすること無く、今回の登山行は極めて順調だ。

談笑しながら藤野駅プラットフォームで列車を待っていた。やがて日が沈み、ホームから見る夕焼けが綺麗であった。



クマさん会の久しぶりの高尾山～陣馬山尾根歩き縦走は、天気にも恵まれて心地よい汗を流すことが出来た。東尾垂の湯に浸かったあとに飲んだ生ビールも、堪えられない美味さだった。めでたし、めでたし。

が・・・、一寸待てよ。

順調な歩きで、計画よりも1時間ほど早く下山したではないか。このまま解散、帰宅ではあまりにも寂しくは無いか！！ 5人が一緒に途中下車できる八王子駅があるではないか。

・・・てなことになって、八王子駅で下車。案内所で美味しい蕎麦やを紹介してもらって飛び込んだのが「そば酒房 凛や」(八王子駅隣接のサザンスカイタワー3F)。

これが中々の当たりの店で、ビールは進み、日本酒(越乃石翠)も進んだ。



これでやっと、5人は何も思い残すこともなく、高尾山～陣馬山縦走のお開きとなりました。